

近年、全国各地で

洪水被害が発生しています。



あなたの地域は、
いざというとき、

安全な場所に避難できますか。

まるごとまちごと ハザードマップ のススメ



長井市



河北町



中山町

まるごとまちごと ハザードマップとは？

自分たちの街に洪水にかかわる情報を標示して、いざという時に被害を最小限にとどめよう！という取り組みです。

「想定浸水深プレート」は、洪水が発生したときの川の水で浸水する高さや、避難所までのルート等を表示するサインプレートです。この情報が、いざというときに住民が避難する時の助けになります。



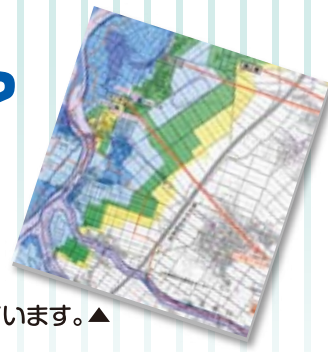
想定浸水深・洪水時避難所標準プレート(例)



川西町

「洪水ハザードマップ」をご存知ですか？

「洪水ハザードマップ」は、河川のはん濫を想定して
みんなが迅速、的確に避難を行うための情報が載っています。

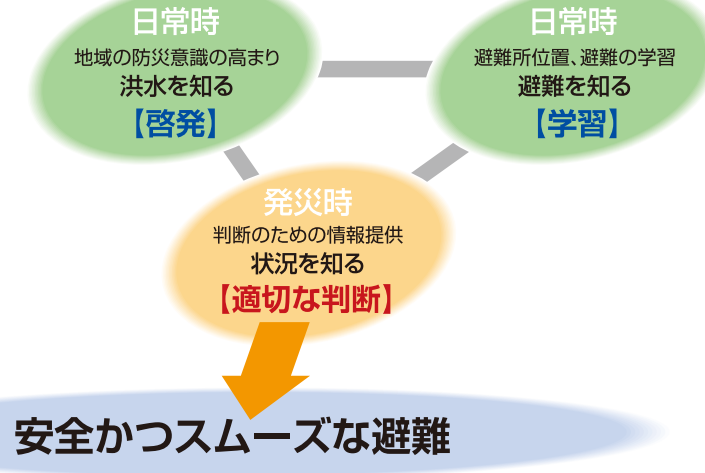


市町村で作成・配付しています。▲

まるでまちごとハザードマップは、

実際に「洪水ハザードマップ」の情報を、まちなかに標示するものです。

住民自身が主体となって、「洪水ハザードマップ」に書かれて
いる浸水エリア、浸水の深さ、避難所までのルート把握し
「想定浸水深プレート」を設置することで、地域の防災意識を
高め、いざというときの安全かつ
スムーズな避難に貢献します。



ステップ3

地図をもとに街を歩いてみる。

- 自分たちの街を実際に歩いてみて、危険箇所や避難ルートを確認してみましょう。
- 川が増水しても安全に通れるか、夜間でもスムーズな避難ができるかなども確認しましょう。



標識の設置場所をきめる。

- 街を歩いて感じたことを地図に落とし込んで、想定浸水深標識や避難誘導標識を設置する場所をきめます。



ステップ4

想定浸水深プレートを設置する。

- プレートの作成
- 表示内容や深さの測量
- 事業者柱への設置申請などは、各市町村の防災担当窓口へご相談ください。

みんなが見やすいところにしっかりと！



平常時も防災訓練などで「洪水ハザードマップ」と一緒に活用する。

ステップ1

自分の住んでいる地域を改めて考えてみる。

- 町内会や自治会など、自分の地域で自主防災の取り組みを行っていますか？
- 洪水がきたときに、いつ、どこに、どのように逃げるかイメージできますか？

この辺はだいたいどうなの？
町内会全体での自主防災？
避難所ってどこ？



ステップ2

地域で話し合みましょう。

- 「洪水ハザードマップ」や地図を使い、川や道路の位置を確認し、洪水の被害が、どこに、どのくらいの規模で予想されているのか話し合みましょう。
- 地域の避難所と、そこまでの安全なルートを確認しましょう。



地図に書いてみましょう。

- 一人暮らしの高齢者や身体障がい者など、手助けが必要な人がどこに住んでいるか確認しましょう。
- 洪水災害経験者の話も聞いてみましょう。



災害は忘れたころにやって来る

忘れてはいけない大災害の記憶

昭和42年8月 羽越豪雨



流木で山となった小国大橋 【小国町】



長崎鉄道上流の出水状況 【中山町】



最上川の氾濫による出水状況 【大江町】



道路が川となり商店街が流木等の溜まり場と化した 【川西町】

人間の力や努力を超えた自然の脅威は必ずやってきます。

自分の命は、自分で守る気構えを
早めの避難を！

地域の防災力が重要です！

イメージできますか？ あなたの住む街が洪水になったら……

山辺町の須川周辺



0.0m

平常時のようす



0.5m

浸水深0.5mのイメージ図



1.5m

浸水深1.5mのイメージ図



2.5m

浸水深2.5mのイメージ図

天童市の最上川周辺



0.0m

平常時のようす



0.5m

浸水深0.5mのイメージ図



1.5m

浸水深1.5mのイメージ図



2.5m

浸水深2.5mのイメージ図

村山市の最上川周辺



0.0m

平常時のようす



1.0m

浸水深1.0mのイメージ図



2.0m

浸水深2.0mのイメージ図



3.0m

浸水深3.0mのイメージ図

※浸水の深さは、各地点で堤防が破れた場合の水面高から、地面の高さを引いた差を最大の深さとしています。

村山・置賜地区災害情報普及協議会

事務局：国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 調査第一課 水防企画係
〒990-9580 山形市成沢西四丁目3-55 電話023-688-8421(代)